

## 11か国による T P P 交渉の大筋合意に関する 知事コメント

本日、ベトナムで11か国による T P P 交渉の大筋合意に至ったと発表された。

今般の大筋合意の内容については、農林漁業者の中には不安と懸念が残っているところである。大筋合意に至った経緯について、国は詳細に説明をするよう、今後も求めていきたい。

また、県としては、農林漁業者の不安と懸念を払拭するため、去る8日にも、外務省、農林水産省をはじめとする関係省庁に対し、経済連携協定等を合意した場合、その内容の詳細と想定される影響を国民に丁寧かつ速やかに説明すること、今後とも農林漁業者が安心して経営を継続できるよう具体的かつ万全な対策を講じることが強く要請してきたところであり、引き続き適切な対応を求めていきたい。

いずれにしても、本県の農林水産物のブランド力を高め、世界に挑戦する競争力のある農林水産業の実現に向けた取組を強力に進めていく所存である。

平成29年11月11日  
鹿児島県知事 三反園 訓